

タイトル	ネットデイを通じた情報教育実践事例		
発表者	静岡県立浜松城北工業高等学校 森下 博正		
【主な発表内容】			
中古パソコン活用整備事業から			
○浜松市			
○創立50周年「空撮」の話 生徒の配置などいろいろ大変だった。これこそ情報教育である。			
○浜松城北工業高等学校の話 環境教育宣言 「地球にやさしいエンジニア」の育成 学校設定科目として設定されている。			
○実習授業の風景 工業実習（機械科）			
○著作の説明			
○ネットデイとは 1995年にカリフォルニアで始まった。地域の草の根のボランティア活動			
○中古パソコン活用整備授業 産・官・学・ボランティア団体 静岡教育委員会が主催			
○整備事業の実施 2004年度から始まった。 都市部での需要が少ない コンピュータ部の生徒や実習の授業で行っている。 部品ひとつずつ洗浄している。			
○設置工事とネットデイ 整備したパソコンにシールをはらせてもらって、PRしている。			
○学習効果 コンピュータの中身を見れるという機会をもてたのはすごくよかった 生徒の目つきがかわったのはほかにない。 パソコン整備士検定試験へのチャレンジ 地球にやさしいエンジニアの育成 ボランティア精神の育成			
○まとめ 「専門技術」を体験的に学ぶ、体験学習から深い「興味関心」、場面において「情報活用能力」習得 社会に参画する態度 →取り組む意欲が出てきた。社会人の人との交流から得られるものがある			
WEBへの資料公開許諾	レジメだけ許可	記録者氏名	阿南